

# 進路だよりですよ

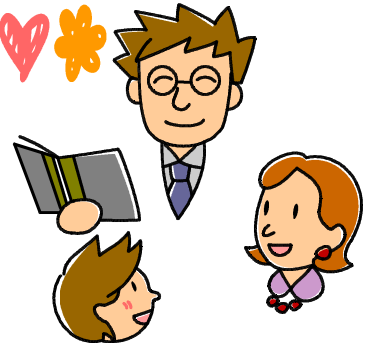
# NEWS 2015 TIMELY No. 12

2015年10月27日発行

## 進路相談を進めています!!



進路決定の時期が次第にせまってきました。第3回の進路希望調査を行いました。希望と現実との間にまだまだ開きのある生徒もあり、担任がそれぞれ相談活動を行っています。自分の適性や興味などをもとにして、4月以降どんな生活を送っていきたいかを考えていくことが基本となりますが、進学に関しては、やはり入試というものがある以上、実現可



能なことを考えていかなければなりません。つまり、受験校を決める際には合格の可能性の高さを考慮する必要があります。多くの時間があるわけではありませんが、決断の時期が近づいているだけに、自分自身でまずじっくり考え、家族と十分話し合いをし、担任と進路情報を確認していきながら、決めるようにしましょう。



## 進学を考えている人へ!!



希望—現実—適性—保護者の期待など、考える要素はたくさんあります。様々な要素を確認し、具体的な受験校を決定していきますが、4月から新しい生活を送るのは自分自身です。自分自身で決断することが大切です。

### ① 公立高校と私立高校との併願での受験

公立高校の受検校については3学期に決めますが、合格の可能性を考え併せて私立高校を決めなければなりません。しかも併願する場合の私立高校の一般受験は、推薦で受験するより難しくなります。公立高校が第一希望の場合、第二希望が同じく公立なのか、それとも私立なのかをよく考えておかなければなりません。

### ② 私立高校の推薦入試での受験

普通科などでは系列の大学を持っている高校があり、その大学への進学を考えるなら、他の高校から進学するより有利になります。その高校だけを受験するという約束になるため、「志望の動機が強い」と見なされ併願での受験より有利になります。

### ③ 専修学校への受験

職業科のある専修学校では専門的な学習を進めるだけでなく、高校卒業の資格を得るための学習もします。したがって、3年後専修学校の卒業証書と高等学校の卒業証書の2つの資格を持って卒業することになります。高校と呼ばれるところでの生活となんら変わりはありません。推薦入試もあります。

